

科目名：保育原理		講義・演習	担当教員名：倉持 ころ	
			実務経験：無	
1 年次	前期	2 単位	選択必修 / 必修	
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期が人間形成の基礎を培う重要な時期であることを理解するとともに、保育に関する全容を理解することができる。</li> <li>・子ども観と子どもの権利保障の歩みを基に、保育の意義、現状と課題を理解する。</li> <li>・保育の内容と方法の基本について理解する。</li> <li>・保育所保育指針を基に、子どもの発達過程に応じた保育や保育士の役割を理解する。</li> </ul>				
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児期の固有の意義とその育ちを支える保育者の役割の重要性について理解を深める。</li> <li>・基礎的な知識の習得とともに、保育の実践を支える子ども観、人間観、保育観の形成を目指す。</li> <li>・保育の意義、保育の思想と歴史の変遷などについて学びながら、保育の現状と課題について考察する。</li> </ul>				
授業計画				
1	保育の意義と役割、保育の基礎としての子ども観			
2	子どもの最善の利益と保育			
3	諸外国の保育の思想と歴史			
4	日本の保育の思想と歴史			
5	保育の社会的役割と責任			
6	子ども家庭福祉の法体系における保育の位置づけと関係法令			
7	こども・子育て支援制度			
8	保育所保育指針			
9	保育所保育に関する基本原理・保育における擁護（養護と教育の一体性）			
10	保育の内容・環境・方法			
11	子ども理解に基づく保育課程（計画・実践・記録・省察・改善）とその循環			
12	倫理観に裏付けられた保育士の専門性			
13	諸外国の保育の現状			
14	日本の保育の現状と課題について			
15	まとめ・定期試験			
テキスト				
新 保育ライブラリー保育原理 北大路書房 プリント				
参考書等				
その都度紹介				
評価の方法				
定期試験＋受講態度＋課題				